

商务师业务外语：日本企业文化 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

[https://www.100test.com/kao\\_ti2020/222/2021\\_2022\\_\\_E5\\_95\\_86\\_E5\\_8A\\_A1\\_E5\\_B8\\_88\\_E4\\_c29\\_222775.htm](https://www.100test.com/kao_ti2020/222/2021_2022__E5_95_86_E5_8A_A1_E5_B8_88_E4_c29_222775.htm) 周知のように、「企业文化」という言を言い出したのはアメリカ人、面白いのが一番早めに践したのは日本人である。世界第二次大で日本が故に、国のも重に崩れてしまった。「この状による相当い期がたないと、回することができないだろう」と世の人がでもそうだと思われてあり、程なく状はまったくそうではない。日本品がえなく、世界各国の扉をノックし始め、特にテレビ、密胜丧幙辘味喟胧訾苏加肖工r、アメリカが日本展の微妙な所を探り始め。80年代にアメリカ学者が次から次と投稿し、日本企展迅速な原因は日本企は自分自身の企文化がきちんと持ってあるからと明らかになってくる。ですから、「企业文化」は日本企迅速展の最も重要な原因である。本文は宗教信仰という角度から日本文化を新たに解明する。日本企の精を把握するために、各国の企文化と比べると、日本企文化が厚な宗教いがする、これが日本企文化最もな特である。一、日本企文化が宗教及び企の展から取りめ（一）日本企文化の宗教象と宗教展の源が深い日本宗教展史上、儒教、教と日本の民族精神宗教神は日本に深い影を与えた。5世の前後と6世中、わが国と日本の相互のこととて、わが国の文化と哲学思想も日本に授しつつあり、儒教と教もそういう期に日本に授してきたそうです。この2の宗教が正式に日本に影を来たすのが7世のはじめのころ。圣太子が日本の治を化しようのために、い力をめて教

を押しめ、儒教と教の教を基として、17条の法公布をきっかけに、日本が二大主教を主に「和」式の治を推し始め、神は日本土着の人々の宗教、最初は自然の崇、其の後ほかの宗教の思想も受け入れ、「忠」という代表的な教が成しました。この教が国家及び天皇との忠を提唱してあるから、「国教」だと指定された。日本の近代にも大きいな影が及ぼしてある。日本の宗教が最初から多元体系を主にして、其れが故に、信仰してるのは西方国のようにあらゆるものに主宰するの「一神教」ではなくて、系列区分の「多神教」である。1981の日本の宗教集によると日本全国の宗教信者が20927万人までしました。日本人口の1.8倍にも占め、これによると、山の日本人が唯ある一つの宗教を信じてるではなく、二つ及び二つ以上の宗教を信仰してる、宗教信仰は日本の国民にして、どれほど重要なことかここまではっきり分かるでしょう。わが国の儒教は日本の巨大な影を及ぼしてある。「仁、、礼、智、忠、孝、和、」などの理思想と日本の「天皇に忠、命を投げ出しても憾でなく」の神（神道）精神大昔から在に踏し「忠」と「和」が企文化の代表として成り立ち、当企文化が又宗教の形で施する。日本企業が「人生が物と精神この2つの求めがあり、人々の生活が幸せになれるよう、次から次へこの2つの求めに足しなければならない。物求めが品が良くて段が安い品物をマス・プロダクションすれば、足できる。一方では精神求めについては、信仰にりにする必要がある。勿、ここに述べるの信仰は完全に西方のフォーマットに判断してはいけません、ある一つの追求及び理想だと考えればいいです。人

が3分の1のが仕事をする、仕事のキャリアとしてある企がこの2つの求めを足させるの任をうべきである。したがって宗教の痕が企の中に至るところがえるようになりました。

(二) 日本企文化の宗教象も日本企特殊な展プロセスから定する日本企の代化が明治新から始め、日本が本主の道に歎毬瑜 暁紋Iが廉で私人にり渡し。これがきっかけに、武士たちの特も止されてしまう、大量の武士がビジネス界に入り、これらがもともと教思想と儒教教の陶を受けてるの武士が一旦企に入ると、各の思想とが企に持ちんでも避けしい、管理段の本主と一般の管理者がもともと山が武士出身のこととて、日本企文化に宗教色彩が溢れても可笑しくない。はこの前に、的的な文化の影のために、商工界の宗教象が少ないじゃない、しかし今の期になって、政府各政策の作用、宗教影もに企に散してくる、これによると、宗教と企文化の正式の接合もこの期からとめられ、彼たちがこれを「プラス算」「士魂商材」の企文化だと自称してある。日本企文化と宗教の接合がある企家が捏造したのではなく、このような象が的的な文化展の必然性及び展の客的な要求であり、これもほかの国が日本企のような文化をしていないの肝心なところである。一、日本企文化と宗教象について、全面底に解析する企文化の神中枢としての哲学が企家の精神と宗教思想合に融合の物である。理念、指、哲学などは企家が期の践からめたの道、行及びなどが企家管理の指原であり、これに通じて企のワカたちが一丸となって、共同な志向と精神力を形成される。日本の企家は宗教思想を自分の哲学に加入し、「国、社会の任がわが任と看

做し、平和共存、上下一致」などの思想が神の「忠」思想と儒教の「和」莫大な似点がある。半数の日本企の哲学中に、「追求利あがる」いずれの企も必ず成するの目がに第一番目に置かない。逆に、企の任、企が社会、国家及び全人にう任をするのがめに多し、例えば松下器が「国」が会社の要旨として、第一位に置いてある。田会社の社の第一条が「上下同心力、拓のために至站埂bの成果が国家のために尽力する」日本TDK会社方「造——世界文化に献する」

100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问  
[www.100test.com](http://www.100test.com)